

平成 23 年  
2 月 24 日

# 病害虫発生予報 3 月号

茨城県病害虫防除所  
茨城県植物防疫協会

全ての農作物に残留農薬基準が設定されています！！  
一薬剤散布の際は周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょうー

## < 目 次 >

### I. 今月の予報

#### 【注意すべき病害虫】

イチゴ：ハダニ類 . . . . . 1

促成ピーマン：アザミウマ類 . . . . . 1

施設野菜(イチゴ, 促成トマト, 促成キュウリ, 促成・半促成ピーマン):灰色かび病 . . . 2

春レタス：菌核病 . . . . . 2

【その他の病害虫】 . . . . . 3

イチゴ, 促成ピーマン, 促成トマト, 促成キュウリ, メロン, 春ハクサイ

### II. 今月の気象予報 . . . . . 4

最新の農薬登録内容は、(独)農林水産消費安全技術センターホームページの「農薬登録情報提供システム」([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))で確認することができます。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel:029-227-2445

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

## I. 今月の予報

### 【注意すべき病害虫】

#### イチゴ

##### 1. ハダニ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 2月下旬現在、被害葉率、発生地点率ともに平年より高い。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生の少ないうちに防除を徹底する。
- ② 薬剤防除の際は、薬液が葉裏や葉柄にも届くよう、十分な量を丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、系統の異なる薬剤を散布する。
- ③ ミツバチ導入後は、薬剤のミツバチへの影響に十分注意する。

#### 促成ピーマン

##### 1. アザミウマ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 2月下旬現在、寄生花率、発生地点率ともに平年より高い。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① アザミウマ類は増殖が速いので、発生の少ないうちに防除を徹底する。また、各種ウイルス病を媒介するので注意する。
- ② 薬剤防除の際は、薬液が葉裏や花にも届くよう、十分な量を丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、系統の異なる薬剤を散布する。

## 施設野菜（イチゴ，促成トマト，促成キュウリ，促成・半促成ピーマン）

### 1. 灰色かび病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	平年並	県下全域

[予報の根拠]

- ① 2月下旬現在，イチゴ，促成トマト，促成キュウリ，促成・半促成ピーマンにおける発生量は平年並である。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハウス内が多湿になると発生が助長されるので，換気，送風，暖房等によりハウス内の湿度を低く保つ。
- ② 花落ちが悪い花卉や，罹病部は早急に取り除き，ハウス外に持ち出して処分する。
- ③ 発生が多くなると防除が困難になるため，初期防除を徹底する。
- ④ 薬剤散布は，薬液が乾きにくくなる午後からは行わず，晴れた日の午前中に行う。また，曇雨天が続く薬液が乾きにくい場合は，くん煙剤を利用する。
- ⑤ 薬剤防除の際は，薬液が葉裏や葉柄にも届くよう，十分な量を丁寧に散布する。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，系統の異なる薬剤を散布する。

## 春レタス

### 1. 菌核病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	多い	県西地域

[予報の根拠]

- ① 2月下旬現在，発病株率，発生地点率ともに平年より高い。

[防除上注意すべき事項]

- ① トンネル内が多湿になると発生が助長されるので，日中は換気を十分に行う。
- ② 結球期以降になると，特に発病しやすくなるため注意する。
- ③ 菌核病の発生を認めた場合は，菌核が形成される前に発病株を圃場外に持ち出し，適切に処分する。
- ④ 多発すると防除が困難となるため，初期防除を徹底する。また，薬剤防除の際は，薬液が葉裏や株元にも届くよう，十分な量を丁寧に散布する。

(平成 23 年 2 月 21 日発表の病害虫情報No.14 参照)

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	発生量：平年並	2月下旬現在，平年並の発生である。
促成ピーマン	斑点病	発生量：やや多い	2月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
促成トマト	ハモグリバエ類	発生量：やや多い	2月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
促成キュウリ	うどんこ病	発生量：平年並 ～やや多い	2月下旬現在，平年並～やや多い発生である。
	アザミウマ類	発生量：やや多い	2月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
	ハモグリバエ類	発生量：平年並 ～やや多い	2月下旬現在，平年並～やや多い発生である。
メロン	べと病	発生量：平年並	2月下旬現在，平年並の発生である。
	つる枯病		
	菌核病		
春ハクサイ	べと病	発生量：平年並	2月下旬現在，平年並の発生である。

## II. 今月の気象予報

### 関東甲信地方1か月予報

(予報期間 2月19日から3月18日)

気象庁 (2月18日 発表)

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる時期がある見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	10	30	60
降水量	関東甲信全域	30	40	30
日照時間	関東甲信全域	30	40	30

[概要]

天気は、数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<1週目の予報> 2月19日(土曜日)から2月25日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率70%

<2週目の予報> 2月26日(土曜日)から3月4日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率50%

<3週目から4週目の予報> 3月5日(土曜日)から3月18日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率40%

### 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し、適用作物、使用方法、注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には、周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず、良く洗浄しましょう。